



2009年1月15日
湘北短期大学図書館

図書館リニューアルのお知らせ

● 湘北短期大学の図書館が新しく生まれ変わります！

2009年4月、湘北短期大学図書館がリニューアルオープンします。学生の“主体的な学習活動”を支援する場として、学生たちが話し合いながら、図書館にあるさまざまな情報や資料を活用して情報の編集・発信ができるオープンスペースを新設します。リニューアルのコンセプトは<みんなのミカタ>！いつでもみんな(学生)が集まり、いつでもミカタ(図書館員)がアドバイスをを行います。また、資料やモノのミカタ(見方)を学ぶ場として活用していただくことを期待しています。

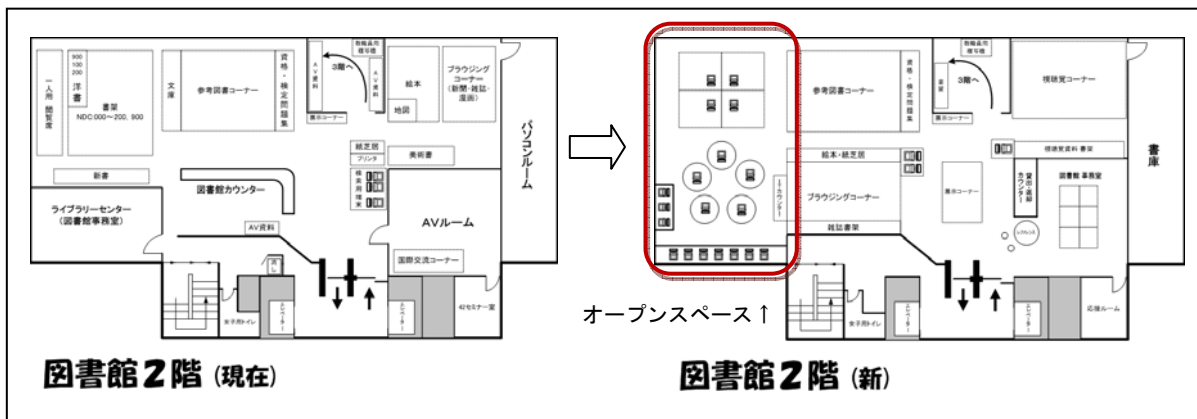
● 図書館リニューアルによるレイアウト変更について

図書館2階にオープンスペースを新設するにあたり、分類番号000～200・900の図書、文庫・新書が3階の書架に移動します。また、カウンターと事務室が現在のAVルームに移動します。パソコンルームのPCはオープンスペースに移動し、現在のパソコンルームに書庫を設置します。ブラウジングコーナーが2階中央に移動し、雑誌や絵本・紙芝居が並べられます。情報資料(DVD、CD等)は、新しくなった視聴覚コーナーの書架に移動します。



↑リニューアル後の図書館2階のイメージ

↓リニューアルによるレイアウトの変更



● リニューアルに伴う図書館2階部分の閉鎖について

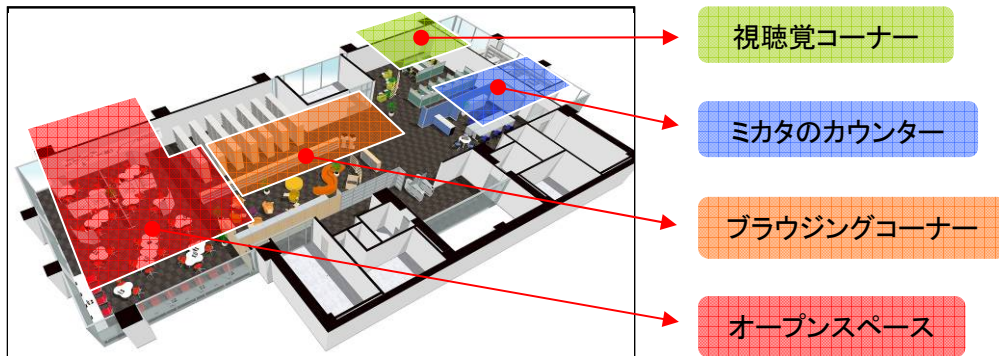
湘北短期大学図書館では、改装工事のため2月2日(月)～3月31日(火)の期間、図書館2階部分を閉鎖します。図書館サービスは3階の仮設カウンターで行ないますので、エレベーターで直接3階から入館してください。この期間は下記の通り利用できない資料があります。ILLサービス(他館からの取り寄せ)はご利用いただけますので、お気軽にカウンターまでお問い合わせください。また、パソコンルームが使用できませんので、館内では貸出用ノートPCをご利用ください。

○利用可能な資料	×利用できない資料
分類番号300～800、絵本・紙芝居、文庫・新書、学術雑誌(3階)	分類番号000～200・900、参考図書、一般雑誌(2階)、情報資料(CD、DVD等)、美術書

図書館リニューアルのポイント！

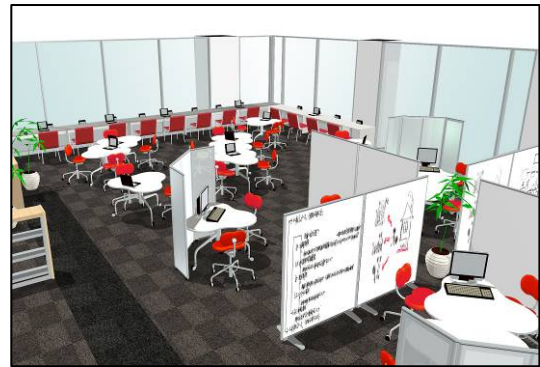
● 館内のゾーニングについて

今回のリニューアルでは、図書館の利用目的に応じた「ゾーニング」を重視しました。各スペースの区分を視覚的に認識させる工夫として、各スペースのイメージカラーを設定しています。例えば、ブラウジングコーナーはオレンジ、視聴覚コーナーはグリーン、オープンスペースはレッドというように、各スペースのイメージカラーをインテリアのアクセントとして取り入れます。また、2階はグループ活動やくつろぎの「にぎわいフロア（会話可能）」、3階は静かに勉強や読書をする「しずかフロア（会話不可）」とし、機能が明確になります。



● オープンスペース(レッド)

新設するオープンスペースは、グループでの学習活動を啓発することを目的としています。このスペースには、1台のPCを複数のメンバーで囲んで話し合いながら情報検索のできるテーブルを設けます。人数に合わせて組み替えたり、使用しない場合はスタッキングしたりできるものです。可動式パーティションで仕切り、個室風の閲覧席としても利用できます。同時に、PC利用だけでなく図書館のさまざまな資料（雑誌・新聞・図書等）を使用しながら、レポート課題等に取り組めるような空間とします。また、通常の閲覧に利用できることに加えて、時には授業等で占有することも可能です。



● ブラウジングコーナー(オレンジ)

新しいブラウジングコーナーは図書館2階中央に配置され、週刊誌などの一般雑誌や新聞、ガイドブック、絵本・紙芝居などが並べられます。

多人数でくつろげるように大きなソファをご用意しました。1人用のソファには雑誌や新聞を広げて読めるように小さなテーブルがついています。

ブラウジングコーナーでは、友達との待ち合わせやおしゃべりもOKです。くつろぎのフロアとして活用していただくことを期待しています。



● 視聴覚コーナー(グリーン)

新しい視聴覚コーナーには、これまで通り1人用、2人用、5人用の視聴覚ブースをご用意しています。

それ以上の人数で視聴したいときやブースに空席がない場合には、カウンターで貸出手続きを行い、新設されるオープンスペースの PC で視聴することも可能です。オープンスペースでは、可動式パーティションで仕切られた個室風の閲覧席で DVD や CD を視聴することができます。



● ミカタのカウンター(ブルー)

これまで1つのカウンターですべての質問に対応していましたが、相談内容に応じて窓口を下記の3つに分ける予定です。

- ◎ 貸出・返却カウンター
図書や情報資料の貸出・返却はこちらへ
- ◎ レファレンスカウンター
資料の探し方やレポート作成に関する相談など
図書館の利用に関する質問はこちらへ
- ◎ IT コンシェルジュ
ノート PC・デジタルカメラなどの貸出・返却、
PC の操作方法についての質問はこちらへ



(予定)

文部科学省 平成 20 年度「質の高い大学教育推進プログラム」に選定！

文部科学省が今年度から新設した「質の高い大学教育推進プログラム(教育 GP)」に本学の申請取組「図書館を実践の場とする学科横断 PBL 教育」が選定されました。

● 図書館を実践の場とする学科横断 PBL 教育

本プログラムの目的は、異なる学科の学生が共同で履修できる PBL 演習科目「DITO 演習」を通じ、本学の教育の理念でもある「社会に出て本当に役に立つ人材を育成する」ことです。

情報メディア学科の学生には、現実のニーズに応えるコンテンツ制作を通じて、より実践的な知識や技能を学ぶことで「実践的な ICT 開発能力」を育成します。その他3学科の学生には、自分たちのニーズを制作側の学生に的確に伝え、そのコンテンツを実際に利用・評価し、改善提言をする過程を通じて、「企画構成力/ICT 活用能力」を育成します。また、双方の学生が互いに理解を深めながら1つのプロジェクトに取り組むことによって、「コミュニケーション能力」を育成します。

図書館に新設されるオープンスペースは上述した取り組みにおいて、学生たちが話し合いながら図書館内の様々な情報や資料を活用してコンテンツを制作するスペースとして活用される予定です。図書館員は本プログラムにおいて、こうした活動を支えるサポート役として位置づけられています。PBL 教育を実践するための学習環境を整備し、本学図書館を「ラーニング・コモンズ」として発展させていきたいと考えています。



「図書館でわくわくワーク」実施

● 高大連携土曜日特別授業を図書館で行いました！

リベラルアーツセンター主催の高大連携プログラム土曜日特別授業「図書館でわくわくワーク」を下記のとおり図書館で実施いたしました。湘北短期大学の図書館で楽しく学ぶことができるワークショップ形式の授業を全2回にわたって実施し、たくさんの高校生にご参加いただきました。

テーマ：絵本との出会いを演出する

講師：湯浅とんぼ氏（特別講師）、岩崎敏之（生活プロデュース学科）

【第1回目】12月6日（土）「絵本の思い出を語り、絵本と遊ぶ」

参加者：高校生12名、本学の学生1名、高校の司書2名、本学の教員1名・図書館員2名

【第2回目】12月13日（土）「新たな絵本と出会い、絵本を紹介する」

参加者：高校生17名、本学の学生7名、高校の司書2名、本学の図書館員2名

● 実施報告

第1回目「絵本の思い出を語り、絵本と遊ぶ」

授業は、湯浅とんぼ氏のギターと歌に合わせて、体を動かすことからスタート。最初は緊張している様子が見られましたが、みんなで声を出すうちに自然に体が動き出したようでした。体も心もほぐれたところで、グループに分かれて絵本のお話づくり。文章が隠された絵本を使い、絵だけでイメージを膨らませます。キーワードは、ひらめき、おもいつき。それぞれ役割分担しながら、楽しそうに話し合う姿が見られました。発表ではみんな



の想像力に笑いが絶えず、最後に実際のストーリーを知ったときには、驚きの声が上がりました。

授業を終えた受講生からは「絵本の楽しみ方を新たに知ることができました」「自分の想像力をためす良い機会になりました」「一人で読むのと二人で読むのとではずいぶん違うんだと思いました」「絵本は子どもだけというイメージだったけど、高校生でも楽しめるんだと気づけて良かった」との感想が寄せられました。

第2回目「新たな絵本と出会い、絵本を紹介する」

第2回目の授業も、湯浅とんぼ氏のギターと歌でスタート。この日は、絵本を紹介するポップづくりにチャレンジ。図書館の絵本コーナーで真剣に絵本を選び、イラストとコメントを盛り込んで、遊び心いっぱいのポップを完成させました。発表では、「自分が選んだ絵本の素晴らしさをみんなに知ってもらいたい」という熱心な姿がみられました。



授業を終えた受講生からは「みんなの発表を見て、いろいろな本を読みたいと思いました」「ポップづくりに楽しかったです。絵本を一つとっても、いろいろな表現方法があるのだと思いました」との感想が寄せられました。

今回のワークショップで作られた参加者の個性とアイデアが光るポップは、1月30日（金）まで、湘北短期大学図書館の展示コーナーでご紹介しています。